



JHFレポート

10月号

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

1999年

2000年からのJHF ● フライヤー会員登録スタートまで3ヶ月

(財)日本航空協会から「航空スポーツ登録制度(フライヤー登録)」がJHFに移管される2000年1月まで、あとわずかになりました。移管と同時に始まるJHFフライヤー会員登録の準備で、総合改革推進室のメンバーは大わらわです。

JHF総合改革推進室は、もと総合改革委員会。JHF役員を中心に有志が加わって、文字どおり連盟をさまざまな面でよくしていくための仕事をしています。この春委員会から推進室に変わって以来、メンバーは三つの専門チーム「登録データシステム、会費・保険制度、制度整備」に分かれて活動中。

DECADEチームこと登録データシステムのチームは、フライヤー会員登録が簡単にできるように、また登録された会員の情報を安全に管理し、会員にとって価値あるサービスが効率よくできるように、登録データシステムの構築に取り組んでいます。会費をコンビニエンスストアでも振り込めるようにするため契約する業者も決まり、登録カードを葉書スタイルにすることも8月理事会で可決されました。会費・保険制度チームは、フライヤー会員登録をすると自動的に加入できる「第三者損害賠償責任保険」の契約をどの保険会社と結べばいいか

検討していましたが、8月理事会で三つの入札業者に提案内容を説明してもらい、審議されることに。その結果、2社との共同契約が決まりました。契約の内容は、各社の提案に基づいて会費・保険制度チームが調整しているところです。

フライヤー会員の会費(登録料)は、航空協会のフライヤー登録料と同じく、1年間で3500円、3年間で1万円。会員になる(登録する)と、第三者損害賠償保険に加入できるほか、JHFレポートが各人に送られます(代金と送料は会費に含まれる)。なお、レポートは隔月刊になる予定です。

PG日本選手権&補助動力付PG日本選手権、この秋開催

空が高く澄みわたって見える秋。暑さにふやけた身も心もシャッキリする季節、パラグライディングと補助動力付パラグライディング、二つの日本選手権が開かれます。

パラグライディング日本選手権は、9月22日から26日まで、以前にも日本選手権開催地となった新潟県吉川町尾神岳エリアで行われます。テイクオフ地点に立つと、広い稲作地帯の向こうに日本海が見え、素晴

らしい眺め.....ですが、選手にはのんびり景色を楽しむ暇などないぐらい、飛びに飛べることを祈ります。パラグライディング日本選手権は、気象条件に恵まれず2年連続で不成立に終わっています。今年こそ久し振りに新チャンピオンの誕生を見たいものです。また、今回の選手権は、日本で初めての「FAIカテゴリー2」の大会でもあり、出場者の成績は世界ランキングにのります。

ぜひ、成功を！
今年で三回目の補助動力付パラグライディング日本選手権は、10月23日・24日に千葉県富津市の富津岬エリアで開催。こちらも眺望抜群、東京湾横断道路が一望できます。東京湾観音に見守られ、密度の濃い競技ができるよう期待しましょう。
それぞれの日本選手権報告は、JHFレポート&ホームページに掲載します。

レジャー航空無線機をどんどん活用しよう

スカイレジャー航空無線機事業がいよいよスタート！この事業は4年前から企画され、郵政省から「平成10年度お年玉付き郵便葉書等に付加される寄付金の配分」として510万円の補助金を受けられることになって、実現したものです。

そもそもの始まりは、ルールを守らず無線交信するフライヤーがふえ、混信等の問題が出てきたことから。スカイレジャー用に許可されている専用波(465.1875MHz)を利用して、競技会や講習会、検定会等の通信をすれば、確実に情報が伝わり、安全確保にも役立つし、周囲に迷惑をかけずに済むだろうと、専用波利用に必要な無線機の購入が計画されました。



そして、この夏アイコム社から専用無線機が納品され、電波管理局への登録申請などの準備も一段落。7月31日・8月1日に開かれた、滋賀県フライヤー連盟主催「びわ湖バレイPGオープンカップ」でテスト運用され、好評でした。現在、JHFレジャー航空無線機推進室では、無線機関連の規程やルールの案を作成中。近日中に理事会で決定される予定です。

無線機はJHFがまとめて管理しており、公認大会や都道府県連盟のイベント用に貸し出されます。貸し出しの条件は、利用者のなかに「第三級陸上特殊無線技士」免許を持つ人が1名以上いること。せっかくの専用無線機、免許を取って(取ってもらって)どんどん活用しましょう。

参考までに 次の「第三級陸上特殊無線技士」国家試験は2000年2月1日に全国11ヶ所で行われます。受験申請は各地の(財)日本無線協会へ。今年の12月20日が申請締め切りです。

レジャー航空無線機についての問い合わせは、JHFの横尾和彦事務局長まで。

空のかお

その25



渡辺道幸(わたなべみちゆき)さん
パラを始めたのは10年前。ソアリングしながら感じる解放感が何といっても最高、という渡辺さん。楽しみながらも安全にはしっかり配慮しているので、「10年間ケガ知らず」とはさすが。週末には茨城や群馬の空で飛行を謳歌している。

委員会の動き

PG競技委員会 委員長 岡 良樹

このJHFレポートが届く頃には日本選手権者が出ていることと思います。今年は天候が不順(梅雨が明けたと思ったら、連続で来る台風の影響でほぼ全国のエリアで、フライトのできない日が続きました)なので心配ではありますが。なにせ、2年連続で不成立となっている日本選手権、数年前の悪夢がどうしても頭をよぎります。後半戦の各大会が天候に恵まれ、ヒートアップして最終戦を迎えられることを望みます。

もう、ご存知とは思いますが、10月9日から開催されるCOOフルーツカップもカテゴリー2大会としてFAIから公認されています。参加にはFAIスポーツライセンスが必要です。忘れずに取得しておいてください。

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

7/24-8/8に開催されたHG世界選手権

(Monte Cucco, Italy)の結果と8/12~15に開催された'99HG阿波踊りスカイオープンの結果をホームページに掲載しています。

来年(2000年)4月後半に岩手県遠野エリアで開催予定の日本選手権はFAIカテゴリー2にて開催の予定です。参加を考えている選手はFAIスポーツライセンスの取得をされるよう準備をしておいてください。

尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。
HG競技委員会事務局 FAX.0299-44-1346
E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp
http://tomato.saino.ne.jp/haku/JHF-HG.html

教習検定委員会 委員長 島野 広幸

スカイスポーツは1年中楽しめますが、スクールが忙しいのは、やはり夏の間です。教習検定委員会の各委員も、地元ではインストラクター業でとても忙しいので

す。それでも委員会活動は、休んでいただけません。現在は、タンデム技能証特別検定会の実技ビデオのチェックを行っています。それに伴い技能証の発行作業もあり、また今後の運用の段取りもしなければなりません。

JHFの教本にはタンデム技能証課程がまだないので、学科試験や実技の手引きとなる「学科参考資料」が必要です。実費で配布できますので、JHF事務局にお問い合わせください。

99年度JHF教員検定会の申し込み受け付けも始まりました。10月に実技検定、11月に教習実技や学科の検定会を行う予定。その準備もあり、実は少し焦っています。

タンデム技能証特別検定会の実技ビデオ送付は、8月末が締め切りでしたが、集まりが悪いため、9月に入っても受け付けています。受験者はできるだけ早くビデオを撮影してお送りください。

大会報告

'99びわ湖バレイパラグライダーオープンカップ

1999年7月30日~8月1日

滋賀県びわ湖バレイ

- 1位 真鍋 務 1000点
- 2位 内藤 丈 852点
- 3位 和田 浩二 636点
- 4位 辻本 恵一 490点
- 4位 川村 展生 490点
- 6位 中平 悟 359点
- 6位 三澤 稔 359点

スカイグランプリ'99獅子吼パラグライダー選手権大会

1999年8月6日~8月8日

石川県獅子吼高原フライトエリア

- 1位 武尾 拓 山梨県 2914点
- 2位 川地 正孝 神奈川県 2741点
- 3位 長島 信一 埼玉県 2472点

- 4位 扇沢 郁 富山県 2339点
- 5位 森山 拓 埼玉県 2290点
- 6位 岩瀬 茂寛 愛知県 2276点

(レディースクラス)

- 1位 佐藤 明美 石川県 1993点
- 2位 水沼 典子 栃木県 1716点
- 3位 穴井久美子 山梨県 1710点

全日程を通して強いサーマルコンディションと高い雲底に恵まれ、ゴールメイクした選手が多数出た。特に上位10名は3日間ともほぼゴールするすばらしいスピードレースを展開した。反面、強いコンディションに対応しきれない選手もいた。

猪苗代パラグライダーカップ'99

1999年8月7日・8月8日

福島県猪苗代スキー場

(エキスパートクラス)

- 1位 岩沢 広喜 神奈川県 4659点

- 2位 野呂 哲也 千葉県 4648点
- 3位 五位淵孝幸 千葉県 4625点
- 4位 松村 守 新潟県 4541点
- 5位 佐藤 京子 埼玉県 4466点
- 6位 野村 延史 千葉県 4363点

(オープンクラス)

- 1位 桜井 俊秀 福島県 3060点
- 2位 門原 浩太 千葉県 2924点
- 3位 志甫伝一朗 福島県 2903点

好天・好風に恵まれてエキスパート(1時間)とオープン(20分)のセットタイム&シークレットパイロンで競技が開始されました。ダミーの報告でエキスパートからのスタートとなり、1時間のセットタイムをオーバーする選手が続出。続いてオープンクラスもスタートとなり、選手全員が猪苗代の空を楽しみました。2日目はオープンクラスのみ成立、エキスパートクラスは強風のためキャンセルとなりました。

総合改革って何だ?

最近のJHFレポートによく出てくる言葉が「総合改革」。改革なんていうと、ものものしくて、どこか遠いところのできごとのようなのだが、実はフライヤーひとりひとりに関係あるのだ。

いまから17年前、フライヤーの組織として日本ハンググライダー連盟(JHF)が発足した。正会員の協力を得、熱心なボランティアに支えられて、連盟はその形を整えてきた。1995年には、多くの人の苦勞が実って、社団法人になった。公益法人として社会に迎えられたのだが、バタバタと慌しく成長してきたために、アンバランスな部分、チグハグなところができてしまった。これではいけない、社団法人として恥

ずかしくない、フライヤーひとりひとりに価値のある連盟にしなければならない!というわけで、JHF総合改革が始まった。

かけ声だけでは何も始まらない。いろいろな問題を具体的に検討しようと、川添喜郎副会長(当時)が音頭をとって、JHF総合改革委員会が発足した。JHF役員を中心に有志を加えたメンバーは、制度や規程を一から見直し、「成熟したJHF」がどうあるべきか、さまざまな意見を出しあってきた。そしてこの春、同委員会はJHF企画部内の「総合改革推進室」になり、三つのグループに分かれ(1ページ「2000年からのJHF」を参照)より具体的な動きを始めた。

改革の目玉は、何といってもフライヤー

登録の移管だ。これまで、ハング・パラグライダーのフライヤーは(財)日本航空協会にフライヤー登録(航空スポーツ登録)をしてきた。登録者はJHFの普通会员になるが、直接JHFに入会申し込みをしたら会費を納めることはなかった。そのかわり、フライヤー登録料を受け取った日本航空協会からJHFに、活動補助金が渡されてきたのだ。これは、社団法人として健全とはいえない。そこで、まずは航空協会にフライヤー登録の移管を申し入れ、承認された。

2000年1月、フライヤー登録が移管され、JHFフライヤー会員登録が始まると、改革の第一段階がようやく終了する。

県連ニュース

北海道ハンググライディング連盟

10月16日(土)・17日(日)に、ニセコでハング&パラグライディングの助教員検定を行います。また、10月9日(土)・10日(日)に、リンクスで初のハンググライディング大会「リンクスオータムカップ」を開催します。ハングフライヤーの皆様、ふるってご参加ください。

お問い合わせは、当連盟事務局(札幌市南区南30条西8丁目2-16 長谷川栄次
TEL.011-582-0790 FAX.011-582-1677 まで。

[吉野正規]

青森県ハンググライディング連盟

「青森県スポーツ立県宣言」記念イベント「PG体験教室」盛会に終了!

・開催月日:7月18日(日)
・開催場所:青森県大鰐町「大鰐温泉スキー場」

・参加者数:68名/県連スタッフ:45名

青森県では今年、「スポーツに親しみ、スポーツに強い青森県」を目指し、「スポーツ立県宣言」をしました。記念イベントの一つとして、パラグライディング体験教室を開催。快晴、正面の微風という絶好のコンディションに恵まれ、盛会に終了しました。

記念イベントはアウトドアのニューススポーツ系を主体に企画され、この中にPG体験教室が選考されたことは、県連スタッフ一同大いに名誉なことと受け止め、全面的に協力をしました。いろいろな企画の中でもPG体験は最も人気が高く、瞬間に定員に達したのも嬉しいことでした。

昨年度は、文部省主催の「第3回アウトドアスポーツフェア」でPG体験教室を成功させ、2年連続の国や県とのタイアップ行事となりました。

この後の企画としては、冬の八甲田山の樹氷鑑賞をしながらの「スキー・スノー山岳ツアー」があります。全国からの申し



天候に恵まれ大盛況だった青森県連のPG体験教室。

込みを受け付け中(県のインターネット参照)です。 [古川正司]

宮城県ハンググライディング連盟

7月22日~8月25日の1ヶ月余り、仙台市科学館において、同館主催、後援に県教育委員会・各新聞社・各放送局、協力団体として東北大学をはじめ航空関係業界ならびに各企業が参加し、科学館特別展示「飛行機展」が開催されました。

飛行機の歴史、飛行の原理、飛行機の構造、航空機の歴史など、さまざまなコーナーがあり、私ども県連は飛行機体験コーナーにブースを設け、パラグライダーを展示。パラグライダーの構造や飛び仕組みについて解説にあたりました。

夏休み期間中とあって親子連れでにぎわう中、パラグライダーを目の当たりに、その大きさに驚く子供たち。その大きな丸い眼と、大人の大人でさえもこの薄っぺらな布きれのパラグライダーが飛ぶことの不思議さに首をかしげる様子など、いろいろと新鮮なできごと遭遇した1ヶ月でした。

[川越敏明]

栃木県ハング・パラグライディング連盟

9月26日(日) モーターパラグライダー実技検定会を、以下のとおり行います。

場所:宇都宮柳田大橋JWA飛行場

時間:午前10時集合(午前・検定予備練習、午後・検定)

内容:PWA/B/NP/P

連絡先:スカイトライアル 塚部

TEL.090-8946-5126 FAX.0287-46-5126

[谷古宇瑞子]

奈良県フライヤー連盟

奈良県在住のフライヤーの皆さんへ

奈良県にはフライトエリアがなく、フライヤーはすべて他府県のエリアで活動しておられます。従って、奈良県フライヤー連

盟への登録も、所属クラブやスクール、エリア管理委員会や他府県連盟の事務局を通して行っていただくことが多くなります。

4月初頭に奈良県在住のクラブ員全員の登録をしてくださるクラブや、ある程度数がまとまってから送ってくださるエリア管理委員会など、その対応もさまざまです。そのため、お金を払って登録したつもりになっていても、奈良県連盟の事務局に届いておらず不利益を破る結果になることも考えられます。実際に、クラブ費に県連登録費が含まれていると何年も勘違いしてトラブルが発生したケースや、JHFへの推薦を申請してきて、登録が滞っていることが初めてわかったケースなどがありました。そこで、確認のために、奈良県連盟へ個人の登録を送付して下さったクラブをお知らせします。この他のところで登録申し込みをされた方は、手続きをされたところにもう一度確認してください。

・SPL(ブルースカイ) ・キングポスト
・スカイレンジャー ・青垣町スカイス
スポーツ運営協議会

1999年8月1日現在、上記以外のクラブやスクール、また他府県連盟の事務局からの登録は1件もありません。登録が済んでいる方には、奈良県フライヤー連盟の封筒でJHFレポート他を毎月送付しています。

[岩井捷治]

鹿児島県ハング・パラグライディング連盟

8月22日、矢岳高原ブルースカイフェスタが行われました。梅雨明け後、天候不順が続いており、当日も天気が心配されましたが、選手やスタッフの熱気に根負けしたような晴れ空になりました。2ヶ所あるテイクオフ地点のどちらから飛び立つかは、100名近い選手がそれぞれクジで決定。一喜一憂する場面です。ダミーフライト後、午前10時にゲートオープンされ、すぐテイクオフする選手たち、ダミーのフライトは素晴らしく、後に続く選手はコンディションが悪くなり、12時からのサーマルを狙います。風は終始西(右)よりで弱く、風待ちすることも多かったのですが、久しぶりの青空で思う存分飛べ、楽しい大会でした。

結果は、総合優勝が神野竹虎、準優勝が岩佐励嗣、3位に山下浩二、4位は鶴丸敬明、5位前川克哉、6位松永博人、レディース優勝は胸永弘子、準優勝が高橋律子、3位辻千恵子でした。

[黒木悦子]

事務局から

今秋の事務局スケジュール

JHF事務局では、2000年1月の「JHFフライヤー会員制度」スタートに向けて、システムほかの検討・準備を急ピッチで進めています。11月には準備も最終段階に入りますが、その時期は例年の「最盛期」。技能証発行ほか諸業務において皆様にご迷惑をお

かけしないよう計画を組んでいますが、ご理解・ご協力をお願いします。

P証申請に写真をもう1枚

技能証発行用機材の性能の問題で、パイロット証の顔写真の画質が美しくないため、写真をそのまま使うことにしました。申請書と一緒に写真2枚をお送りください。

広報出版局から

求む、サポーター!

JHF広報出版局では、JHFレポートの編集等を手伝ってくださる方を求めています。インターネットや編集に興味のある人、大歓迎。できれば東京近郊にお住まいの方。年齢・性別を問いません。まずはJHF事務局にご連絡ください。

ルーマー、ついに勝利をつかむ。

1999年ハンググライディング世界選手権報告

7月25日から8月8日まで、イタリア中央部のウンブリア州、モンテ・クッコ周辺で、12回目のハンググライディング世界選手権が行われた。内田孝也チームリーダーが率いる日本代表選手の顔ぶれは、クラス1が峰岸正弘、外村仁克、大門浩二、鈴木博司、波多野康雄、大沼浩、クラス2が板垣直樹。アシスタントチームリーダーの中村庸十を加えて総勢9名の日本チームは、それぞれの目標を胸に本番を迎えた。

25日夜10時からの開会式は、全チームのパレードに始まり、天使のような衣裳の女性たちによるパフォーマンスでクライマックスに。選手たちの意気も盛り上がり、いい感じだったのに、初日は雨で競技キャンセル。さらに調整フライトに出かけた大沼が手首近くを骨折。日本チームは貴重な

戦力を欠いてのスタートとなってしまった。

翌27日は競技できたものの、28日、29日と続けて雨のためキャンセル。30日に飛んで、31日は強風でまたキャンセル。少し前にオーストリアで開かれ不成立だったパラグライディング世界選手権の例もあるし、どうなることかと思ったが、8月に入ってから連日競技でき、両クラスとも計8本のフライトが成立した。

前回のオーストラリア、フラットランドでの競技は、ドカーンと上昇して一気にグライドの繰り返しが多かった。今回は地形も気象条件もまったく異なり、早まってサーマルを離れるとそのままランディングしてしまうことも。そのサーマルもあまり強くなく、選手どうしの無線のやりとりを

聞いていると、「こっちの上がりはいしたくない。プラ1。そっちは？」「こっちはプラ0.5で頑張ってる」と、かなり苦しい場面が何度もあった。山地を離れ平地を渡るタイミングを逃した選手たちが、永久運動のようにリッジソアリングする姿も見た。名のある選手がテイクオフ地点の足元にボムアウトしていて驚いたことも。また、スタートした時間帯で明暗がはっきり分かれた日もあり、読みにくい気象条件だった。専門家にも難しかったようで、毎日のブリーフィングで解説する「お天気おじさん」の予報もよくはずれた。

そんな状況のなかで「さすが！」と皆を唸らせたのが、オーストリアのマンフレッド・ルーマー。風の道が見えてるとしかなえないコースどりで、単独でもズンズン

個人成績

クラス1(168名参加)タスク距離平均96.1km

1位	RUHMER Manfred	オーストリア	5198点
2位	WOLF Andre	ブラジル	5120点
3位	MATOS Pedro	ブラジル	4901点
4位	SCHMITZ Betino	ブラジル	4730点
5位	RIGG Gordon	イギリス	4729点
6位	WALBEC Richard	フランス	4703点
7位	COOK Steve	イギリス	4596点
8位	BONDARCHUK Oleg	ウクライナ	4578点
9位	SANDOLI Alvaro	パラグアイ	4466点
10位	THEVENOT Gerard	ルクセンブルク	4462点
17位	大門 浩二	日本	4202点
57位	峰岸 正弘	日本	2824点
65位	外村 仁克	日本	2762点
102位	鈴木 博司	日本	2085点
105位	波多野康雄	日本	2018点

クラス2(25名参加)タスク距離平均96.1km

1位	KRAZNER Christof	ドイツ	5441点
2位	CARR Jonny	イギリス	5302点
3位	TRUTTMANN Hansjoerg	スイス	5300点
4位	SHARP David.H.	アメリカ	5025点
5位	PORTER Brian	アメリカ	4822点
6位	CHAUVET Alain	フランス	4569点
7位	HOFFMANN Guben Marcus	ドイツ	4086点
8位	WEBER Bernd	ドイツ	3586点
9位	RIS Juerg	スイス	3583点
10位	MAFFI Graziano	イタリア	3404点
18位	板垣 直樹	日本	2577点

チーム成績

*チーム内上位3名の選手の得点合計による。

クラス1(38ヶ国参加)

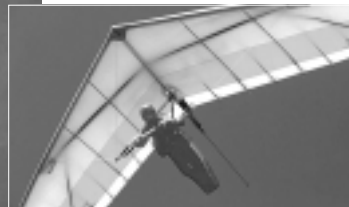
1位	ブラジル	15392点
2位	イギリス	14195点
3位	オーストリア	13512点
11位	日本	10362点

クラス2(9ヶ国参加)

1位	スイス	10342点
2位	ドイツ	10250点
3位	アメリカ	10203点
9位	日本	2577点



メインエリア、モンテ・クッコの南側テイクオフ地点。



気合を入れて飛び立つ鈴木博司。



黙々とテイクオフの準備をする大門浩二。



この風なら山寄りかな。コースを検討する日本チーム。



一緒に飛ぶクラス1と(上)のグライダー。

走り、期待どおりゴールしてくる。その確信に満ちた飛びっぷりは、世界中の強者が集まった世界選手権でも、ズバ抜けている。95年のスペインでも、98年のオーストラリアでも、強力な優勝候補だったが勝ちを逃した。そして今回、ついに名実ともに「世界一のパイロット」になったのだ。最終日、強風のために競技キャンセルとなり、彼の勝利が決まったとき、誰もがこのリアル・チャンピオンを心から祝福した。ルーマーの宿命のライバル、チェコのトーマス・スカネクが出場していなかったのが残念。本人もスカネクを負かして世界一の座につきたかったのではなからうか。(スカネクはセールプレーンの世界選手権に出るため、ハングの方を休んだ。)

もうひとりの世界チャンピオン、クリストフ・クラッツナーはドイツの選手。終始安定した飛びで、逆転優勝。クラス2(エルロンやラダーなど空気力学的操縦装置が付いた機体)の競技はスペインでも行われたが、クラス1とまったく異なるコースで競技したこともあり、「別物」というイメージが強かった。今回は、従来よりグッと軽量で、パイロットがキャノピー(コックピット)に入らず、クラス1と同じハーネスを着けて飛びタイプが多く出場しており、また両クラスともほとんど同じコースを飛んだので、クラス2が身近なものに感じられた。一緒に飛んで「クラス2っていいよ」と言う選手もいたが、グライド中の損失高度の差がありありと

見える場面もあった。多くのクラス2パイロットが機体を十分に乗りこなす力つけた時、クラス2の実力が明らかになるだろう。それは、そう遠い日のことではないと思う。

さて、日本チームの活躍ぶりは.....健闘したものの空回りしたり力尽きたりで、国別11位に終わってしまった。選手6人が8本ずつ飛んで、ゴールは計9回。そのうち4回のゴールを決めた大門の頑張り、総合17位という成績となって残された。プレ大会出場はもちろん、今夏も誰よりも早くヨーロッパ入りして調整してきた努力がみごとに結実したといえる。次に狙うはトップ10入りか、お立ち台か。次回、2年後のスペインに期待したい。もちろん、他メンバーの活躍も。

今回、クラス1国別1位になったブラジルは、少し前には日本と肩を並べていた。最近のブラジルには強いヤツがいるとは聞いていたが、まさか2・3・4位に入賞するとは.....あっぱれというしかない。いつか日本チームがメダルを胸にするために、今回のチームメンバーが得たことが、次の世

代にしっかりと伝えられ、勝つためのノウハウとして次回へ、その先の世界選手権へと生かされていくことを切に願う。

JHF 広報出版局 松田保子

チームリーダーから

緊縮財政の中、我がチームはキャンプ場バンガローで自炊しての節約遠征でした。ボランティアによるサポートのおかげで選手の調子も整い、充実した競技を戦いましたが、事前のハングエイド活動や現地への差し入れ・激励など、日本の皆さまには物心両面にわたりたいへんお世話になりました。チームを代表して御礼申し上げます。非常に残念な怪我や不本意な団体成績が残りましたが、次の世界選手権への糧としていきます。引き続き応援をお願いします。

内田孝也



日本チーム集合。左から内田、中村、鈴木、板垣、波多野、大沼、外村、大門、峰岸。



クラス1トップ3。左からウルフ、ルーマー、マトス。



クラス2トップ3。左からカー、クラッツナー、トゥルトマン。

JHF 賛助会員紹介欄

JHF 賛助会員 No.014 内外機商株式会社

安全で快適なスカイスポーツのために

米回製 デジタル風速計 (サーモ・アネモメーター)

手の平サイズ



機能充実、高精度、操作簡単、携帯に便利な超コンパクト設計の風速計を経済価格にてご提供。

■測定機能

K-2000型 K-3000型 共通の仕様	
度	単位換算/平均風速/最大風速を表示、表示単位:メートル/秒(M/S)、キロメートル/時(KM/H)、ノット(N/T)、マイル/時(MPH)、フィート/分(FPM)、フット/秒(F/S) (風の向き)
測定レンジ	表示範囲: 1秒、最大99999 +/− 0.5%、自動範囲表示: 1% (0.5) ~ 2% (0.5) ~ 5% (1.5) 分解度: 0.1m/s、0.1MPH、0.1MPH、0.1MPH
字	0.2 ~ 9999 ~ 9999 ~ 9999
メモリ	温度表示、温度センサー使用、精度: ±0.3%、メーカー出荷時より±0.5%、表示: 分
センサー	温度.....温度センサー、湿度.....シリコンベース湿度センサー
表示	LED、バックライトサイズ: 9mm (高)
操作ボタン	全ての操作は7個の押しボタンにてコントロール
インベントリ	直径25mm、リチウムイオン電池、軽量で交換は簡単です
電源	コイン型CR2032電池1本 (内蔵)、約400r/時
特徴	30分経過後自動的にOFFになります
本体寸法	サイズ: 122×42×14mm、重量: 44g
標準包装サイズ	サイズ: 122×42×14mm、重量: 20g
箱入り	約25cm



商品に関するお問い合わせは 内外機商株式会社・機材部

〒542-0092 大阪市中央区東本町1-20-15
TEL (06)5245-7141 FAX (06)6245-0770

ハロー

パラグライディング その6

パラグライディングの道具

前回までは、パラグライディング機材の中核となる機体とハーネスについて取り上げました。今回は、もう少し小さな機材を取り上げていきます。これらの道具は、小さいけれどフライトの安全面を支えてくれるのももちろん、快適にパラグライディングを楽しむためにも役立ち、フライヤーの個性をアピールすることもできます。

1. ヘルメット

大切な頭部を守ってくれるのが、ヘルメット。あごのガードがついている「フルフェイス」タイプとそれがない「ハーフ」（というかフルフェイスでない）タイプがあります。次のような点を踏まえて、自分にあったものを選びましょう。

衝撃に対する性能

せっかくかぶるので、しっかりと頭を守ってくれるものを選びましょう。スカイスポーツ用ヘルメットの統一規格は始まったばかりですが、他のスポーツ規格に適合したものもあり、それらが参考になります。フルフェイスタイプのは、前方の衝撃から顔面を守ってくれます。ハーフタイプでも、後頭部まで覆われたものとするものでないものは、衝撃を受けたときの方向によっては違いがでます。工事用や登山

用は落下物に対する防御を主体に作られているので、お勧めできません。

装着時の性能

まずは視界の広さ。フルフェイスタイプでもものによって違うので、着用して確かめてみましょう。そして装着感。大きさが合っていることはもちろんですが、かぶった時に感じる重さも大切な要素です。空気が通るようになっているものもあります。衝撃を受けた時に、脱げてしまったりは困りますので、ベルトの位置や調整も確認しましょう。そしてかぶるときは必ずベルトをしっかりと締めることが大切です。

スタイル

いろいろな形のものがありますが、初級者の場合、空気抵抗などはあまり考えなくてよいでしょう。頭を前後に動かして、ハーネスや肩などに当たらないものなら、スタ



イルはお好みでどうぞ。

2. シューズ

ショップで売っているパラグライディング用のシューズは高いし、とりあえずどんな靴でも飛べます。けれどもなるべく早く専用のものを使いましょう。パラグライディング用シューズは、一般のトレッキング用シューズに比べ、足首の部分に強度を持たせてあります。初級者のうちはランディング時など、足首に負担をかけてしまうことも多く、シューズによってけがを防止したり、軽くすることができます。足首を痛めてからパラシューズを履くようになった人も少なくないので、ちょっと値段が高くても最初から使いたいものです。

3. 手袋

1日体験では軍手でも充分です。A級課程になったら、ラインの扱いなどがよい薄手の丈夫なものを使うとよいでしょう。ゴルフグローブなどでもよいのですが、パラグライディング用のカラフルなものもありますので、入門記念にそろえてみるのもよいかもしれません。冬の高高度フライトでは、とにかく手が冷たくなります。防寒性が高く、指が動かしやすいものを使いましょう。

理事会ダイジェスト

8月20日理事会

1999年8月20日(金)10時~17時 東京都港区立生涯学習センター201学習室 出席：川添喜郎・小林朋子・朝日和博・関谷暢人・横尾和彦・岩間雅彦・田中美由喜・星野納・松田保子・松永文也各理事、宮川雅博監事欠席：渡邊敏久理事、坂本三津也監事 議長：田中美由喜

JHFフライヤー会員規程について審議

2000年1月のフライヤー会員制度スタートに伴い、「(社)JHFフライヤー会員規程案」について審議。賛成9で案を可決。

保険業者決定について審議

JHFフライヤー会員会費に関わる「第三者損害賠償責任保険」契約保険会社の決定について、総合改革推進室会費保険チームより、業者の正式入札に基く審議の提案があった。3社の入札業者による説明及び質疑の後、審議。賛成9で、東京海上火災保険(株)と三井海上火災保険(株)の2社共同契約とすることに決定。また、賛成8・反対2で、契約内容は会費保険チームの担当者、川添・朝日・鈴木に任せる案を可決。

会費入金取扱い業者について審議

JHFフライヤー会員会費のコンビニエンスストア入金の取扱い業者決定について、DECADEチーム・小林から、(株)三井ファイナンスサービスを取扱い業者とする案が出され、賛成9でこれを可決。

DECADEシステム詳細決定方法につい

て審議

JHFデータ管理システム(DECADE)の詳細 使用機材の選択、契約するリース会社の決定など 決定方法について、DECADEチーム・小林より案が提出され、これを審議。賛成9で可決。今後、使用機材の選択、契約するリース会社の決定、外注業者・その他契約業者の決定については、DECADEチームで検討の後、常任理事会が行うことに。また、フライヤー会員証・技能証のデザイン、印刷物の内容とデザインについては、文書理事会を行うか、事前に理事全員に案を配布し了解を得た上で決定する。

フライヤー会員登録証の形式につき審議

DECADEチーム・小林より、フライヤー会員登録証を、コストと作業量の面から「葉書型」とする提案があり、これを審議。賛成9で「葉書型」に決定。

JHFスカイレジャー航空無線利用規程について

事務局・横尾から、スカイレジャー航空無線機の使用について、また貸与規程の案が提出されたが、案を整理して作り直すことを賛成9で決定。担当は横尾。同じく管理規程案は、規程としての体裁を整えることを条件に、賛成9で可決。

賛助会員の承認について審議

内外機商(株)より賛助会員の申し込みがあり、賛成9で承認。賛助会員 No.014 に、フットランチドマイクロライト日本選手

権の後援について審議

補助動力委員会・山崎勇光からの提案。日本マイクロライト航空連盟が主催する、第3回フットランチドマイクロライト日本選手権を、JHFが後援することについて審議。賛成9で、後援を行うことに決定。

田中の予算編成室入りについて審議

理事の田中から、予算編成室の担当にやりたいと申し出があり、審議の結果賛成9で承認。

正会員へのフライヤー会員データ提供について協議

正会員に、フライヤー会員のデータを提供することに関して。どんな形で、どのようにデータを受け取りたいか等、アンケート調査を行うことに。

2000年度事業方針について協議

事業方針案を、総務と常任理事会が作る。事務局移転について

近い将来、日本航空協会からのJHF事務局の家賃補助がなくなるため他の理由から、事務局を移転する方向で今後動くことになった。

*

「理事会ダイジェスト」は、理事会で話し合われたこと、決まったことのポイントをお知らせしています(審議事項はすべて掲載)。理事会の議事録は各正会員(都道府県連盟)に送られるので、必要な方はそちらをご覧ください。 JHF 広報出版局

理事からひとこと

会長 川添 喜郎

6月30日・31日 鳥人間コンテストの審査員としてびわ湖へ。桂三枝・小林亜星さんと暑～いヨシズの舞台上で審査。対岸のびわ湖バレイ PG大会の中島滋賀県連理事長とレジャー航空無線で交信。感度良好。

7月8日 航空スポーツ団体連絡会に小林副会長と出席。各団体間の協力や組織について一歩踏み込んだ討議がされました。

7月21日 PG世界選の報告に、半谷日本チーム代表が来局。日本チームの健闘と世界レベルの詳細な情報が報告されました。

8月9日 元JHF事務局長渡辺良一氏が一家でボリビアへ。氏と協力して社団化に取り組んだ事が懐かしい。氏に感謝。

8月19日 JAA本橋事務局長、角田室長、阿部部長が来局。F登録移管の要望等。

8月20日 理事会でF登録に関する諸案件を承認。総合改革は着実に進んでいます。各部署で2000年1月実施の準備が進み始めました。

副会長 小林 朋子

JHFのデータ管理システム DECADEの作業は順調に進んでいます。先日の理事会で、来年1月から発行するフライヤー会員証の仕様が決まりました。更新のお知らせはどのようなレイアウトにするか、説明文にはどのような内容を記載するかなど、これからもテキパキと提案していくつもりです。

事務局がまとめたデータによりますと、今年4月から7月までの技能証の申請数の合計は昨年とほぼ同じだそうです。減ってはいないけれど増えてもないという現状は、しっかり受け止めなければいけないと思いました。

SPSの登録者のリストを見ていて感じたことですが、比較的最近P証を取得したパイロットが随分たくさん登録しています。競技を通じて一層技術が磨かれることとします。頼もしい感じがして、思わず応援したくなりました。

常任理事 朝日 和博

今年の夏は特に雨が多かったところ、猛暑が続いた北国等異常気象であったように思います。その夏も終わり実りの秋になりました。JHFも実り多き活動を目指してがんばっています。

さて、予算編成室では2000年度に向けて既に予算編成が始まっています。限られたお金を如何に有効に活用するかが最大のテーマであります。各委員会、正会員の意見を中心としながら予算編成室で原案を作成していきます。

新フライヤー登録制(フライヤー会員登録)は2000年の1月よりスタートします。これによって、従来の都道府県助成金に代る新たな原資が生まれてきます。全国のフライヤーの為に有効活用していただくよ

う、その配分方法等を検討中です。

フライヤーの皆様、ご意見をお寄せください。

常任理事 関谷 暢人

今年はいつになくメリハリのある気象条件のようです。雪どけが遅くエリアのオープンが延びたと思えば、5月連休には全国的にビッグなソアリングコンディションに。長野県安曇野ではハングライダーで4200mまで上昇したそうです。これはエルニーニョ現象がおとなしかったためと言われています。また梅雨明け頃から台風や熱帯低気圧が関東沖に停滞し、南から湿った空気が流れこみ、結果的に強い南風が吹き大雨を降らすこととなりました。

我々のハンググライディングは気象条件に大きく左右されるスポーツです。皆さん、フライトには十二分に気をつけてください。勘を頼りにするだけでなく、インターネットなどの情報をどんどん活用しましょう(宣伝をしているわけではありませんので、誤解のないように)。

常任理事 横尾 和彦

JHFが「フライヤーの為の組織」である以上、「フライヤー人口」の推移には、最大の感心、注意を払っています。過去十数年の歴史の中で、大空の夢を叶え楽しんだ仲間達は どうしてしまったのでしょうか。この大きな命題を多角的に分析・検討し、解決に向けての方策を検討していかなければならないと考えます。2000年度JHFの事業方針・計画検討の今秋、正会員の方々はもちろん、教員、スクール等の意見を少しでも反映していければと思います。

事務局では、非常に多くの実務を処理しながら、2000年度以降のデータ管理システムの構築にあたっています。技能証発行業務も、申請する皆さんや教員方に、よりよい方向へ少しでも近づけたいと思います。今回新方式になっても、それが絶対のものではありません。皆様のご意見、どしどしお寄せください。テーマは、技能証のこと、フライヤー登録のこと、学科検定のこと等何でもかまいません。お待ちしております。

理事 岩間 雅彦

教習検定委員会では長い間の懸案であったハングの教本の原稿を作成しています。B級課程までは原稿がほぼできあがりました。できあがった原稿については、実際にハングの教習にたずさわっている何人かの教員の方々に読んで貰い、その意見を取り入れながら最終原稿に仕上げていく予定です。C級及びP証の各課程についても今年度中の原稿完成を目指しています。

理事 田中 美由喜

7月の下旬、パラグライディング世界選手権より戻ってまいりました。JHFレポー

トにもありました通り、今年の参加国は4年前の九州での大会の倍の40カ国もの参加があり、パラグライダーの愛好家が全世界に広がってきていると感じます。今年の世界選手権で、日本の競技レベルの位置付けが一段と高く各国から評価され、列強からライバル視されていることは、嬉しいことで、皆様に胸を張って報告できることを嬉しく思います。これにより世界での日本の発言力も高まることにつながります。選手の努力ももちろんですが、連盟のバックアップ無しでは、成し得ないことです。連盟、また、会員の皆様のご理解とご協力に選手を代表して御礼申し上げます。

また、ますます世界に広がるスカイスポーツのなかで、日本の発言の重要性が増してきていることを皆様に知っていただき、いろいろな意見をお聞きしたいと思います。

理事 松田 保子

7月下旬からイタリアで開かれたハンググライディング世界選手権に行ってきました。世界選手権を現場で見ると、これで9回目。選手の技術、機材の質や性能の進歩は、目を眩ませるものがあります。まったくたいしたもんだと感心することばかり。

今回の注目は、なんといっても国別1位になったブラジルチームの躍進ぶり。いつか日本チームがお立ち台に上がるのを見たいものです。そのためには、パイロットの努力はもちろん、強い選手を育てる環境を作ることが大切。また「世界」を相手に競技してきた選手たちの実感したことを次の世代に伝えていかなければ、せっかく皆が応援して日本を代表するチームを送り出しても、2年に一度のお祭りでは終わってしまうでしょう。どんな方法が現実的なのかなあ...と考えているところです。

理事 松永 文也

秋です。次年度予算策定の季節がやって来ました。通常、予算というものは同一年度中に三つの予算について作業を行います。つまり前年度の決算と当該年度の執行及び補正、そして次年度予算の策定です。この中でも次年度予算の策定は、その予算を執行する組織体の政策を最も端的に表現する場となるわけで、それはもう膨大な資料と丁々発止のせめぎ合いと確固たる政策がないと、なかなか立派な予算というものは組めないものです。先日、予算編成室の会議で3月総会に向けての2000年度予算編成スケジュールを検討しましたが、もうぎりぎりの日程でも8月の終わりから2月までびっしり！ うーむ、くわばら、くわばらという気分の今日この頃です。

大会開催予定(1999年8月25日現在)

PS:ポイントシステム対象(ポイントシステム対象、公認については申請を含む。)参加資格 XC:クロスカントリー証 P:パイロット証 NP:ノービスパイロット証 B:B級練習生参加可 会員:都道府県連盟に属する者



区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切
公認	大佐町長杯Sports Paraglider Series in OSA'99	10/2・3	大佐山フライトエリア	P	12,000円	9/15
SPS	〒719-3503 岡山県阿哲郡大佐町小阪部2240-1 SET大佐山スカイスポーツスクール TEL.0867-98-3400					
公認	大鹿エリアパラグライダーフェスタ99	10/9・10	鳥倉山エリア・鹿塩エリア	P	5,000円	9/26
SPS	〒476-0002 愛知県東海市名和町蓮池39 森 TEL.052-604-5240					
公認	'99 Cooフルーツカップ	10/9~11	エアーパークCoo	XC	20,000円	9/30
PS	〒315-0157 茨城県新治郡八郷町上首1698-1 エアーパークCoo TEL.0299-44-1408					
公認	'99 米こめカップinエアパーク三ノ原高原	10/16・17	エアパーク三ノ原高原	B	12,000円	10/10
	〒969-3113 福島県耶麻郡猪苗代町新地5662 TEL.0242-62-3826					
公認	しらたかパラグライダーカップ	10/23・24	白鷹スカイパーク	XC	12,000円	10/12
PS	〒999-3233 山形県上山市三本松126-19 しらたか TEL.0238-87-2500					
公認	SPS伊吹山パラグライダーカップ	10/23・24	伊吹山フライトエリア	P	7,000円	10/9
SPS	〒520-0242 滋賀県大津市堅田3-12-39 滋賀県フライヤー連盟 TEL.077-574-0501					
公認	'99 阿波の国四国三郎パラグライダー大会	10/30・31	四国ハンググライダーサイト周辺	XC	15,000円	10/15
PS	〒790-0915 愛媛県松山市松末1-10-29 スカイスポーツCOSMOS TEL.089-975-4766					
主催	第3回補助動力付パラグライディング日本選手権大会	10/23・24	千葉県富津市富津岬エリア	補助動力NP	30,000円	10/9
	〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F (社)日本ハンググライディング連盟 TEL.03-3592-2651					
公認	'99 デザントバードマンカップ獅子吼大会	10/8~11	獅子吼高原	XC	20,000円	9/17
PS	〒920-2121 石川県石川郡鶴来町本町4 丁目又85 鶴来町役場商工観光課 TEL.07619-2-1111					
公認	第2回板敷オープン	10/22~24	板敷山エリア	XC	15,000円	10/4
PS	〒150-0011 東京都渋谷区東5-15-5-403 (株)ウインドスポーツ内 板敷オープン事務局 TEL.03-3499-1840					



検定会開催予定(1999年8月25日現在)

PGP:PGパイロット学科 PGNP:PGノービスパイロット学科 HGP:HGパイロット学科 XC:PG&HGクロスカントリー学科 補助:補助動力学科 (いずれも数字は定員)

開催日	時間	開催地	会場	PGP	PGNP	HGP	XC	補助	主催者	電話番号
10/3(日)	18:00~20:00	神奈川県横浜市	神奈川県民センター会議室	15	15	15	15	1	神奈川県連盟	0460-3-5391
10/3(日)	16:00~17:00	静岡県熱海市	パラフィールド	20	20				パラフィールド	045-680-1866
10/11(月)	15:00~20:00	群馬県群馬郡榛名町	ハルナパラグライディングスクール	10	10		5		榛名町 PGS	0422-53-6226
10/16(土)	16:00~18:00	山梨県南都留郡河口湖町	富士五湖PGスクール	10	10		10		(株)オーパレスリー	0555-76-7771
10/23(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町	S.E.T.大佐山講義室		20				S.E.T.大佐山 SS	0867-98-3400
10/31(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
10/31(日)	10:00~16:00	福井県勝山市	スキー場エリカ外方カレッジ管理室	10	10				デイクロスPGS	0776-23-4411
11/9(火)	17:00~20:30	神奈川県横浜市	東戸塚地区センター会議室	10	10	5	5	3	ヨコハマスカイスポーツ	0460-3-6958
11/13(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町	S.E.T.大佐山講義室	20					S.E.T.大佐山 SS	0867-98-3400
11/20(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町	S.E.T.大佐山講義室				10		S.E.T.大佐山 SS	0867-98-3400
11/28(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
12/26(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
12/26(日)	18:00~20:00	神奈川県横浜市	神奈川県民センター会議室	15	15	15	15	1	神奈川県連盟	0460-3-5391

お詫び

JHF レポート 8月号掲載の「スクール情報登録」リストに以下のスクールが漏れていました。関係各位にお詫び申し上げます。

登録No.	名称	郵便番号	住所	電話番号	HG PG PW
4708	ELSパラグライダースクール	〒399-9301	長野県北安曇郡白馬村北城1155-2	0261-72-6022	
5203	今井浜高原フライングスクール	〒253-0055	神奈川県茅ヶ崎市中海岸2-2-10(有)デルタウイング	0467-85-8665	
5401	三重ハンググライディングスクール パースアイビュー	〒511-0862	三重県桑名市播磨3094	0594-24-2907	
5402	KID PPGスクール	〒511-1113	三重県桑名郡長島町押付534-21-105	0594-42-5955	
9501	宮崎スカイスポーツ	〒882-0033	宮崎県延岡市川原崎町165-3	0901-970-3818	

JHF 技能証発行数(1999年8月31日現在)

ハンググライディング	P証		パラグライディング	P証	
		4,809			17,859
	C証	6,735		NP証	8,274
	B証	11,284		補助動力NP証	63
	A証	10,691		B証	39,024
	補助動力証	124		補助動力B証	121
	XC証	1,080		A証	41,103
				補助動力A証	146
				補助動力証	881
				XC証	3,366

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

JHF レポート 10月号 (No.153)

発行日 1999年9月20日 定価 10円
 発行 (社)日本ハンググライディング連盟
 〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F
 TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245

編集 JHF 企画部広報出版局
 印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。